

柏税務署長賞

税金とは

我孫子市立我孫子中学校 第三学年 木村 早希

私は今まで税金についてあまり気にしてきませんでした。税金は国や町などに使われることしか知らないのです、この機会に税金について調べてみました。

税金は、日本に約五十種類のものがあるそうです。私はこの中で、たばこ税というものが気になりました。最初は、消費税があるのになぜたばこ分ける必要があるのか疑問に思いました。けれど、その理由を知ってとても納得しました。理由を知ったあと、私は、たばこ税はもう少し高くてもいいのではないかと思いました。たばこは体に悪いもので、周りの人にも悪影響だと思うので、買う人を減らすためにはもう少し高い方がいいと思いました。自動車税も、たばこ税と似たような理由でとても高かったです。ですが、自動車税をこれ以上高くしてしまうと、自動車がないと生活を送るのが難しい人たちが大変な思いをしてしまうと思うので、自動車税はこれ以上高くならなくてもいいと思います。そのかわり、一つの家に持てる車の数を制限することができれば、地球の環境が少しでも良くなると思いました。

税金に対して良い気持ちになる人はあまり少ないと思うけれど、町がきれいになっていくのであれば、そこまで悪い気持ちにならなくても払えるなど私は思いました。ですが、あまりにも分かりにくい場所で税金を使われてしまうと、税金を払う側は良い気持ちにならないと思います。なので、目立ちやすい学校などの建物や、暗い道に街灯を作ったり、住んでいる人がすぐに分かるような場所で税金が使われたら嬉しいなと思いました。私がいも税金を使うことができたなら、学校や街灯はもちろん、町の人の意見を取り入れて税金を使いたいです。そのほかにも、私は自然がとても好きなので町にたくさん緑を増やしたいです。そして外来種の花を抜いて、色とりどりのお花を植えて管理することができたら、緑いっぱいカラフルな町になると思いました。想像したらとてもいい気持ちになりました。

この作文を書いて、今まで触れてこなかった税金について良く知ることができました。作文を書くことで楽しく社会を学ぶことができて良かったです。緑を増やしてお花を植えるために使う税金を、「花いっぱい税」と名付けようと思います。